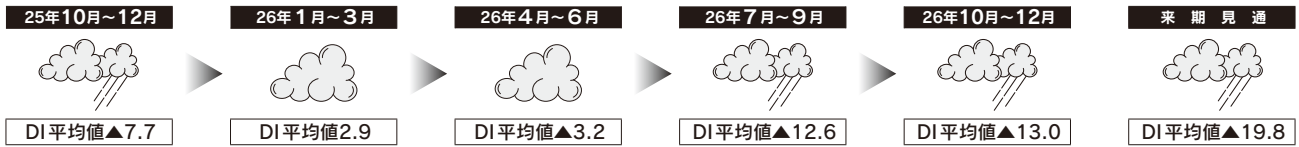


県内中小企業(製造業)景況動向

平成26年10月~12月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲10.6	▲9.9	▲10.9	▲14.1
<p>前年同期比の売上高DIは▲3.1、収益性DIは▲18.7で、両方を合わせたDI平均値は▲10.9となり、「小雨」模様が続けている。来期見通しは、3.2ポイント下降して▲14.1となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは16.1、収益性DIは▲19.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは▲7.2、設備操業率DIは3.7、設備投資実施率は22.6%となった。</p>			

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲4.2	▲11.0	▲30.3	▲36.0
<p>前年同期比の売上高DIは▲22.5、収益性DIは▲38.0で、両方を合わせたDI平均値は▲30.3となり、「雨」模様に転じている。来期見通しは、5.7ポイント下降して▲36.0となり、「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲20.7、収益性DIは▲57.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは▲16.7、設備操業率DIは▲38.1、設備投資実施率は6.9%となった。</p>			



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)は▲13.0となり、前回調査(26年7-9月期)の▲12.6から0.4ポイント下降している。来期見通しは、さらに6.8ポイント下降して▲19.8となっている。

売上高DI(前年同期比)は▲7.9となり、前回調査から2.0ポイント上昇している。来期見通しは▲16.9となっている。

収益性DI(前年同期比)は▲18.1となり、前回調査から2.0ポイント上昇している。

8ポイント下降している。来期見通しは▲22.6となっている。

業況DI(前年同期比)は▲12.5となり、前回調査から3.1ポイント上昇している。来期見通しは▲16.7となっている。

原材料価格DI(前期比)は32.8となり、前回調査から6.9ポイント上昇している。

販売価格DI(前期比)は1.5となり、前回調査から3.6ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)は▲8.0ポイント下降している。





13.3となり、前回調査から0.6ポイント上昇している。

金融機関の態度DI(前期比)は2.6となり、前回調査から4.2ポイント上昇して緩和している。





設備投資実施率は23.4%となり、前回調査より3.3ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の42.9%で、目的別では、「品質向上」が32.5%でトップであった。

設備操業率DI(前期比)は▲4.9となり、前回調査から9.8ポイント上昇している。





紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
7.0	20.6	▲7.7	▲19.3
<p>前年同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲7.7で、両方を合わせたD I平均値は▲7.7となり、「小雨」模様へ転じている。来期見通しは、11.6ポイント下降して▲19.3となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは53.8、収益性D Iは▲8.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲22.2、設備操業率D Iは18.2、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲22.2	▲61.4	▲59.1	▲50.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲54.5、収益性D Iは▲63.6で、両方を合わせたD I平均値は▲59.1となり、「雨」模様が続いている。来期見通しは9.1ポイント上昇して▲50.0となり、「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とも27.3%で0.0、収益性D Iは▲27.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」とも0.0%で0.0、設備操業率D Iは▲27.3、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲14.5	▲8.9	▲6.7	▲11.1
<p>前年同期比の売上高D Iは3.3、収益性D Iは▲16.7で、両方を合わせたD I平均値は▲6.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは、4.4ポイント下降して▲11.1となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲3.1、収益性D Iは▲31.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは15.0、設備操業率D Iは5.5、設備投資実施率は18.8%となった。</p>			





窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
2.9	▲17.1	▲1.7	▲10.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲10.0、収益性D Iは6.7で、両方を合わせたD I平均値は▲1.7となり「曇」模様へ転じている。来期見通しは、8.3ポイント下降して▲10.0となり、「小雨」模様へ転じる見通しとなっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは30.0、収益性D Iは14.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは6.9、設備操業率D Iは3.9、設備投資実施率は34.5%となった。</p>			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
10.0	30.0	28.6	▲7.2
<p>前年同期比の売上高D Iは42.9、収益性D Iは14.3で、両方を合わせたD I平均値は28.6となり、唯一「薄日」模様が続いている。来期見通しは、35.8ポイントと大幅に下降して▲7.2となり、「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D I、収益性D Iともに28.6となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは42.9、設備投資実施率は42.9%となった。</p>			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
6.5	▲15.2	▲11.7	▲19.9
<p>前年同期比の売上高D Iは▲4.3、収益性D Iは▲19.1で、両方を合わせたD I平均値は▲11.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは、8.2ポイント下降して▲19.9となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲8.5、収益性D Iは▲24.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは11.4、設備操業率D Iは▲12.2、設備投資実施率は40.0%となった。</p>			